

農福連携の取組み

ノウフクランチ誕生！

農福連携の取組みの一環として、日替りランチを提供

9月13日～15日の3日間、庄内総合支庁食堂(受託業者:株式会社庄内給食センター)において、「ノウフクランチ」を開催しました。

当日は、庄内管内の障がい福祉サービス事業所(5か所)の農福連携の取組みにより生産された農作物を使用した日替りランチを提供し、多くのお客様から御利用いただきました。

お客様からは、「新鮮なお野菜と優しい味付けがとてもおいしかった」「社会参加がより一層進む社会になればと思う」など多くの感想をいただきました。

「ノウフクランチ」は今後、第2回を11月15日～17日に、第3回を令和5年1月に開催します。

第2回の11月は、第1回で好評だった「ノウフクカレー」が秋野菜バージョンで再登場！ また、同日、ロビーで「ノウフクマルシェ」を併せて開催します。マルシェでは、「ノウフクランチ」で使用している旬の農作物や各種手づくり製品が多数並びますので、ぜひお立ち寄りください。



ノウフク野菜もりもり
サラダうどん



地域保健福祉課
地域福祉支援担当
☎ 0235-66-5654

ノウフク野菜の
キーマカレー



ノウフクランチ

庄内地域の障がい福祉サービス事業所(就労継続支援B型)において農福連携の取組みにより生産された農作物を使用し、野菜たっぷりのノウフクランチを提供します。

9/13 水
9/15 金

加事業所(障がい種別・種別不問)
・つくし荘
・庄内障がい福祉施設もみの木
・障がい福祉サービス事業所(作業所月山)
・障がい福祉サービス事業所(たの木の)
・障がい福祉サービス(たの木の)

場所
・山形県庄内総合支庁食堂

時間
・11:00～14:00

9月のメニュー(日替り/日替り定食)

9/13 水
ノウフク野菜のキーマカレー
目玉焼き付き (500yen)

9/14 木
産地直採ノウフクサラダうどん (550yen)

9/15 金
ノウフク野菜もりもりサラダうどん (500yen)

お問い合わせ
0235-66-5654

<農福連携とは> 障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組みです。農福連携に取り組むことで、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。

「地域産業理解促進セミナー」開催

若手社会人から 地元庄内での 熱い生き方を学ぶ



地元で活躍する若手社会人

9月14日、鶴岡中央高校2年生を対象に、地元で活躍する若手社会人が庄内の魅力や庄内で働く意義などを熱く語る「地域産業理解促進セミナー」が開催されました。

生徒たちは、Youtuberやラジオパーソナリティ、地域おこし協力隊など、庄内地域の様々なフィールドで活躍する若手社会人6名から、それぞれが考える庄内地域の魅力や、地域課題を解決

しながら働くことの喜びについて積極的に学びました。

参加した生徒は、「庄内には、私が知らない職種や魅力がたくさんあることがわかった。地元をより良くしていくことはカッコいい。」と感想を教えてくださいました。

高校生に、庄内で活躍する若者が地元の魅力等を直接伝えることで、将来地元で働くことを意識してもらうため、平成30年度から実施している当事業。今年度は庄内地域の7校で開催を予定しています。

地域産業経済課 産業振興担当 ☎ 0235-66-5487

環状交差点(ラウンドアバウト)が供用します

急がば回れ？ 県道に新たなサークル現る！



酒田市広野地内で行っていた道路改良工事が完了し、環状交差点を含めて10月13日に供用しました。

今回供用した箇所は県内で4箇所目、県道では初の設置になります。また、酒田市管内では京田西工業団地付近に昨年10月、市道の環状交差点が供用されており、5km程の近い範囲に2箇所存在することになります。

環状交差点はラウンドアバウト(呼称)や「RAB」(略称)と呼ばれ、路面表示は一般的な「止まれ」ではなく「ゆずれ」。横断歩行者や右側からサークル内を走行する車両がなければ一時停止が不要な交差点です。

「百聞は一見にしかず」近場に2箇所あるという話題性も含め、実際に足を運んで(はしごして)みて、道路についての見識を深めてみてはいかがでしょうか。

道路計画課 道路整備担当 ☎ 0235-66-5605

知事と若者の
地域創生ミーティング
in 鶴岡市

若者の豊かなアイデアと行動力で 地域を元気に！

8月25日、鶴岡アートフォーラムを会場に「知事と若者の地域創生ミーティング」が開催されました。

皆川鶴岡市長の進行により、鶴岡市内の高校生、農業、自営業等7名の若者が、それぞれの立場からより良い地域づくりに向けて、吉村知事と意見を交わしました。

参加者からは「ターンした人が地域に溶け込みやすくなるコミュニティの場が充実されるとよい」「駆除したイノシシを使い、閉校舎でジビエ料理を提供できないか」「農業と学生によるデザインをマッチングすれば、新たな地域農業の魅力が発信できるかも」などの意見が出されました。

吉村知事は「人の輪が広がることで知恵やサポートも広がっていく。それぞれの地域で活躍し、地域の元気につなげてほしい」と呼びかけました。



総務課 ☎ 0235-66-5598

～庄内地域における交通事故防止活動～ 夕暮れ時は要注意!!

一人ひとりが交通ルール・マナーを守り、交通事故を防止しましょう！



9月21日～30日の10日間、歩行者の安全確保、夕暮れ時と夜間の事故防止、飲酒運転の撲滅、自転車の交通ルールの遵守の徹底を重点に置き、「秋の交通安全県民運動」が実施されました。

期間の初日には、三川町子育て交流施設「テオトル」で、県全体の出発式を開催しました。出発式では、交通事故防止の意識を高める運動となるよう、庄内地域の行政や警察、交通関係団体約150名が出



広報キャラバン隊 出発式の様子

席し、庄内地域の各方面に向けて、警察車両、各団体広報車、支庁広報車両が広報キャラバン隊として出発しました。

これからの時期は日没がさらに早まり、夕暮れ時から夜間にかけて、特に高齢者が関係する交通事故の増加が懸念されます。夕方から外出する際は、明るい色の衣類と夜光反射材着用を徹底しましょう。また夕暮れ時は、車も自転車も早めのライト点灯を心掛けましょう。

これからも、各機関・団体と連携した交通事故防止活動を展開し、地域全体で交通事故を防止する活動を行っていきます。

総務課 防災安全室 ☎ 0235-66-4791

釣り日和。
庄内浜へ釣りケーションに
出かけませんか。



ワーケーションしながら
気軽に釣りを楽しめる、
庄内浜釣りケーション。

※ワーケーションとは
ワーク(労働)+バケーション(休暇)
を合わせた造語です。

フォトダービーコンテストと 釣り具無料レンタルキャンペーンを実施中

庄内浜での釣りケーションの魅力を首都圏等に発信するため、庄内浜釣りケーションフォトダービーコンテストを開催中です。

「庄内浜での釣り最高！」をテーマに、Instagram又はTwitterにて釣った魚や釣りに熱中する姿などの写真投稿をお待ちしています。賞品は庄内米100kg!のほか、ANA羽田⇒庄内線ご利用の方には往復航空券が当たるチャンスも!

あわせて、ANA羽田⇒庄内線ご利用の方には、搭乗ゲートで渡されるピンクの「ご搭乗案内」を提示すると釣り具を無料で借りることができるキャンペーンを実施しています。出張のついでに手ぶらでサクッと釣りを楽しんでみてはいかがでしょうか。

クロダイ、マダイ、スズキ、イナダ、アジ、アオリイカなど、釣ってよし、食べてよしの魚たちとの出会いが待っています!

詳細はこちら⇒



庄内浜
釣りケーション

総務課 連携支援室 ☎ 0235-66-5440

庄内浜釣りケーション
フォトダービーコンテスト

「庄内浜での釣り最高!」をテーマに
Instagram, Twitterにて写真投稿大募集!!

募集・撮影期間: 2022年9月30日(金) ▶ 12月23日(金)

入賞賞品(各1名)

- 1位 フォトダービーコンテスト グランプリ賞品 庄内米 100kg!! (なんと!)
- 2位 庄内産寒鰯 1匹
- 3位 釣り竿 1本
- 4位 ルアーセット
- 5位 クーラーボックス

さらに! ANA羽田⇒庄内線利用者にはうれしい賞をご用意♪

ANA特別賞 ANA羽田⇒庄内線往復航空券…2名 | ANA賞 ANAロゴ入りタオル…20名

コンテスト募集要項・応募に関する詳細は裏面へ▶

世界かんがい施設遺産

きただておおせき

北楯大堰に
行ってみよう!



総合支庁職員が6つのビューポイントを案内します



動画絶賛公開中!



山形県公式YouTube
『やまがたChannel』

庄内平野の礎を築いた北楯大堰

北楯大堰は、平成30年8月に山形県で初めて世界かんがい施設遺産に登録された唯一の施設で、開削によって約5,000haの新田開発が進み、46の集落が誕生するなど、稲作農家の安定した収入確保や村落社会の形成に大きく貢献した施設です。

北楯大堰ビューポイントを動画で紹介

新型コロナウイルスの拡大によりめっきり人出が少なくなった地域に賑わいを戻したいとの思いから、農村計画課職員で構成する庄内プロジェクトAチーム※が、北楯大堰にまつわるビューポイントを巡る動画を制作しました。開削から410年となる北楯大堰の歴史解説と、庄内平野と北楯大堰のスケール感をドローン映像によって表現しています。

車でも自転車でも徒歩でも楽しめる北楯大堰に行ってみよう!

※プロジェクトAチームの「A」は「Accountability:説明責任」の頭文字です。

農村計画課 計画調整担当 ☎ 0235-66-5549

白寿賀詞の贈呈



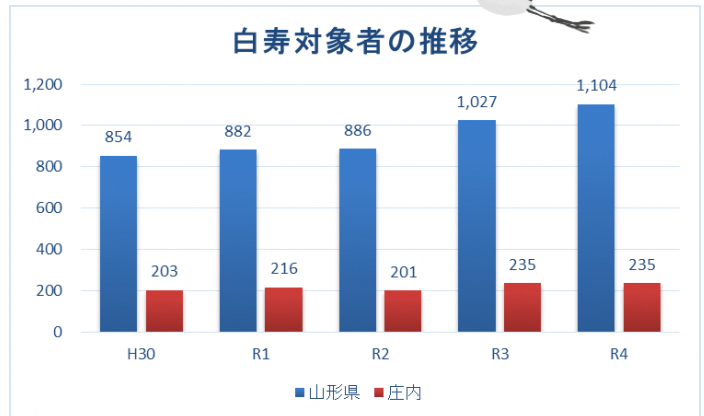
山形県では、高齢者に対し敬老の意を表するとともに、長寿をお祝いするため、数え年で99歳の「白寿」(大正13年生まれ)を迎えた方に賀詞を贈呈しております。

令和4年9月1日現在、山形県全体では1,104名、庄内地区では235名の方が白寿を迎えております。



御家族からは、長生きの秘訣は「なんでも食べること」「くよくよしないこと」とのお話がありました。

私たちも、心身の健康を保つために、規則正しい食事や睡眠を心がけましょう。



地域保健福祉課 地域福祉支援担当
☎ 0235-66-5462

「美しいやまがたの海」クリーンアップ運動実施中！

～みんなで取り戻そう「裸足で歩ける庄内海岸」～

飛島を含む庄内海岸は、その大部分が鳥海国立公園、庄内海浜県立自然公園の区域に指定されている自然環境に恵まれた海岸です。この美しい海岸を次世代に引き継いでいくために、今年度も「美しいやまがたの海」クリーンアップ運動を展開中です。

4月の由良海岸の清掃を皮切りに、9月までに延人数3,268名のボランティア参加者により25回の海岸清掃が行われました。

また、8月には全国から大学生約100名が集合して、飛島を含む庄内海岸の大規模な海岸クリーンアップが行われ、活動を通して海岸漂着物問題を考えるとともに、地域を越えた友情をはぐくむことが出来ました。

環境課では海岸清掃を実施する方々のお手伝いを行っています。興味のある方は、ぜひお問い合わせください。



浜中海岸クリーンアップ

環境課 廃棄物・海岸漂着物担当
☎ 0235-66-4914

再生可能エネルギー地産地消セミナーを開催しました！

9月29日に、地域資源を活用して生み出した再生可能エネルギーを地域で使う「地産地消」の意義や先進的な取組事例を紹介するセミナーを開催しました。

今回はオンライン開催ということもあり、県内各地から事業者や自治会関係者、行政担当者など多くの方からご参加いただきました。



東北芸術工科大学 三浦秀一教授

東北芸術工科大学の三浦秀一教授からは、「山形県では太陽光発電が向いてないと思われているが、年間発電量で見れば山形県が不利ということはない」「暖房用エネルギーとして優秀な木質バイオマスに対して、おそらく山形県は最も多く補助金を出している」「やまがた健康住宅・再エネ設備パッケージ補助金”を活用して家庭からエネルギーの地産地消に取り組んでいただきたい”などのお話がありました。

また、株式会社やまがた新電力及び鶴岡市三瀬地区自治会からは、それぞれの取組みについて発表していただきました。

県内の再エネ地産地消のポテンシャルの高さについて再認識させていただくセミナーとなりました。

環境課 環境企画・自然環境担当 ☎ 0235-66-4744

暖房用エネルギーで見る
木のエネルギー貯蔵力と蓄電池の比較





食べておいしい！あたってうれしい！ 「食の都庄内」グルメ巡りキャンペーン 好評開催中

庄内の飲食店で旬の食材とお酒を楽しむことをテーマとした「食の都庄内」グルメ巡りキャンペーンを10月1日から12月25日まで開催しています。



参加店舗でお食事をして応募すると、抽選で50名の方に庄内地域の特産品が当たります。さらに、パンフレット呈示で受けられる特典や、一定の条件をクリアするともちろん当たるオリジナル手ぬぐいのプレゼントもあります。ぜひたくさんのお店を巡って庄内の「食」をお楽しみください。



詳細はこちら

地域産業経済課 農産物利用拡大・調整担当 ☎ 0235-66-5725



今年もカニの季節がやってきました！
庄内地域の19店に、カニ食べ行こう〜♪

他の地域に先駆けて10月に解禁される庄内浜のズワイガニ。厳しい基準を満たすブランド「庄内北前ガニ」を含むズワイガニ料理をキャンペーン参加店で食べてアンケートに答えると、参加店で使える3,000円分のお食事券が抽選で10名様に当たります！

この機会においしいカニをお召し上がりください。
キャンペーン期間：1月15日（日）まで
参加店舗：庄内地域の旅館・飲食店19店舗



詳細はこちら

水産振興課
☎ 0234-24-6045

庄内が誇るトップブランド魚の一つ！ 「鱈」と書くけど脂がのるのは今ですよ！

“活締め”“神経抜き”による鮮度抜群の「庄内おばこサワラ」を含むサワラ料理を、キャンペーン参加店で食べてアンケートに答えると、参加店で使える3,000円分のお食事券が抽選で10名様に当たります！

今が旬、熟成の旨みを、この機会にぜひご堪能ください。

詳細はこちら

キャンペーン期間：12月11日（日）まで
参加店舗：庄内地域の旅館・飲食店15店舗



水産振興課 ☎ 0234-24-6045

庄内の旬の食を贈ろう！

第3弾 庄内柿
応募期間 11/1 ▶ 11/30

40名様に
庄内柿の
干し柿
プレゼント

応募対象

①県内にお住まいの方
県外にお住まいのご家族・ご友人に庄内柿を贈られた方

②県外にお住まいの方
「#庄内の旬の食を贈ろう」をつけて庄内柿の写真をInstagramに投稿された方

応募方法

イベントページの中込みフォームからお申込みください

当選された方にはダイレクトメッセージをお送りしますので、「食の都庄内」Instagramのフォローをお願いします。

主催 「庄内まるごと届け隊」 推進協議会

県外にお住まいのご家族・ご友人に、庄内の旬の食を贈るキャンペーンを実施しています。

①県外のご家族・ご友人に庄内柿を贈った県内在住の方②庄内柿の写真を「#庄内の旬の食を贈ろう」をつけてInstagramで投稿した県外在住の方から抽選で40名様に景品をプレゼントします。

庄内柿のキャンペーンは11月1日からの実施予定です。詳しくは「食の都庄内」HPをご確認ください。

農業振興課 農産園芸担当
☎ 0235-66-5519

毒キノコの食中毒にご用心！

知らないキノコは採らない、食べない、あげない



秋はキノコの実りの季節です。それに伴い、毒キノコによる食中毒が多発する時期でもあります。10月は、きのこ食中毒予防月間として正しい知識の普及を図ることとしています。

知らないキノコは「採らない、食べない、あげない」を徹底してください。今月は、キノコ食中毒予防啓発パネルを庄内総合支庁のほか、各市町の庁舎等で展示しますので、ぜひご覧ください。



生活衛生課 食品衛生担当
☎ 0235-66-4934

秋もクマに注意！ クマ出没警報発令中



クマによる人身被害は10月が一番多く、年間被害の7割が9月～11月に発生しています。

秋はクマが冬眠に向けて餌を求めて活発に動き回ります。このため、行楽や農作業などでも人とクマが出合う機会が多くなり、思わぬ事故にあう可能性もあります。

特に今年は目撃情報が多く、春には人身事故が2件発生しています。

被害にあわないために、次のことに注意しましょう。

- ・ラジオ、鈴など音が出る物を携行し、クマに自分の存在を知らせましょう。
- ・家の周囲の取り残しの果実や、生ゴミなどは放置しないようにしましょう。



環境課 環境企画・自然環境担当
☎ 0235-66-4744



10月は がん検診推進 強化月間です！

**ご自身のため、大切な人のためにも
受診しませんか？**

がんは日本の死因第1位であり、年間約38万人が亡くなっています。がんによる死亡者数を減らすためには、早期発見・早期治療が重要です。

県では、10月を「がん検診推進強化月間」と定め、特に受診がおろそかになりがちな女性向けに休日の子宮頸がん・乳がん検診を実施することになりました。平日検診に行けなかった方もぜひこの機会に受診しませんか。詳しくは、お住まいの市町のがん検診担当課にお問い合わせください。

保健企画課 健康増進担当
☎ 0235-66-5476

不法投棄の無い、 きれいな庄内地域・海岸を 目指して！

10月は「不法投棄及び海岸漂着ごみ削減強化月間」です。

県では、ごみの無い山形県を目指して、集中的に啓発活動及び監視活動を実施し、不法投棄の未然防止及び早期発見に努めています。

私たち一人一人がポイ捨てしないことを心がけ、不法投棄の無い、きれいな庄内地域、庄内海岸と一緒に守りましょう。

◎不法投棄110番 TEL0235-66-4914

環境課 廃棄物・海岸漂着物担当
☎ 0235-66-4914



不法投棄監視の様子

